携帯サイト誘導装置

Knavit®

スターターキット

取扱説明書

株式会社アクセス

1. はじめに

この度は、Knavit スターターキットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に必ずお読みください。
この取扱説明書の解説する範囲は、Knavit 本体と、その設定用ツールである Knavit SETUP TOOL およびそのソフトウェアです。追加用 Knavit 本体にはこれと同様の取扱説明書は付属しません。
この取扱説明書は、大切に保管してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

この装置は、誘導式読み書き通信設備(RFIDリーダーライター)に属する装置ですが、**電波法電波法施行規則第６条第１項第１号の規定における発射電波が著しく微弱な無線局の無線設備**いわゆる**微弱電波装置**であるため、**電波法施行規則第４６条**の規定における**総務省指定型式の取得が不要な装置**になっています。

Knavit**スターターキット**は、管理IDにより他のKnavitスターターキットで製作した設定用ICカードによる誤設定を防止する機能を有しています。お客様が**複数のスターターキットを利用するご予定が**ある際には、必ず事前に販売代理店にその旨お伝えいただき、正しい管理IDのスターターキットを入手ください。管理IDの確認方法は、18ページに記載しています。

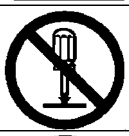
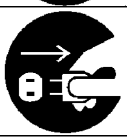
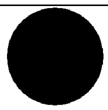
安全上の注意

<必ず守っていただくようお願いします>

本装置を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

 **警告**	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 **注意**	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

		記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています。
		記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左の表示例は「分解禁止」を表しています。
		記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。 左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。

警告

	本体の内部や隙間に金属片を落としたり､水やコーヒーなどの液体をこぼしたりしないでください。 火災や感電､故障の原因となります｡
	電源ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源ケーブルに傷がついて火災や感電の原因になります。 電源ケーブルに傷がついた場合は使用しないでください。
	本体および AC アダプタは絶対に分解や改造しないでください。 発熱､発火するなどして､火災や事故の原因になります。

注意

	指定以外の AC アダプタは使用しないでください。 発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。
	湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。
	電源ケーブルや接続ケーブルをコンセントやコネクタから抜くときはコネクタ部分を持って外してください。 ケーブル部分を引っ張ると故障の原因となります。
	次のような場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ◆ 異常状態から回復できないとき ◆ 異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき ◆ 本装置の内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき。 異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。

次のような異常が発生した場合、速やかにコンセントから電源を抜き、当社へ連絡下さい。

- 煙が出た、においが出た
- 異常な音が出た
- 水や異物が入った
- 製品を落とした
- 製品が破損した

使用上の注意

火災や感電を防ぐため、以下のような場所には設置しないで下さい。

- 湿気や埃の多い場所
- 異常に高温な場所
- 熱器具に近い場所
- 激しい振動のある場所

お手入れの仕方

- お手入れをする際には、まずコンセントから電源を抜いてから開始してください。
- 薄い中性洗剤を含ませた柔らかいぞうきんを絞って使用下さい。
- 濃いアルコール、シンナー、ベンジンなどは外装などの損傷を招くため使用しないで下さい。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きに従ってください。

制限事項

- Knavit SETUP TOOL はパソコンの USB ポートに接続して使用しますが、Knavit 本体は電源を取得する目的でない限りコンピュータに接続して使用するものではありません。
- 本製品を使用することにより生じた直接、間接の被害、データの消失等については、弊社では一切その責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や高度な信頼性を必要とする設備、また用途などでのこれらの用途での使用は意図しておりません。このような環境下での使用に際しては一切の責任を負いません。

その他のお知らせ

- 「Knavit」まはた「ケイナビット」は IOSS 社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。
- 「Felica」はソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。
- 「Felica」はソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCa プラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「au」は KDDI 株式会社の登録商標です
- 「SOFTBANK」およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 本書及び本製品に使用されている製品やロゴ、その他製品における名称とスローガンのいずれか、もしくは両方は、それぞれの企業が所有する商標または登録商標の可能性があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。
- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更する場合がございます。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や、誤りなどお気づきになりましたら弊社までご連絡いただきます様お願いします。
- 本製品は日本国内での使用のみ保証が適用されます。

目次

2. 特徴

Knavit は 「おサイフケータイ」に対応した携帯電話機に対し、ホームページアクセスや電子メール発信を素早く行うための非接触誘導装置です。また、モバイルマーケティングに適した様々な情報発信機能を備えています。

ユーザの操作は、携帯電話機の FeliCa プラットフォームマークを Knavit にかざすだけと大変簡単です。非常にコンパクトでかつ様々な取り付け方法により、単独利用はもちろん、組み込みでの利用も柔軟に対応します。

誘導先アドレスや、音量 LED 点灯パターンなどの情報は低コストで容易な IC カードを介して行います。

消費電力が少ないため、市販の USB ポートを備えた電池を利用して使用することも可能です。

※電子メール発信誘導は、au 携帯、ソフトバンク携帯でのみ利用可能です。

3. 仕様

- 無線インターフェース　周波数　13.56MHz
- 伝送可能距離：最大 5cm　※携帯電話機機の機種により受信感度は異なります。
- 対応携帯電話機と誘導機能

	ブラウザー起動 サイト接続確認	Mail 起動 空メール送信
NTT DoCoMo 900 シリーズのうち 902 以降のおサイフケータイ搭載機種、 700 シリーズのうちおサイフケータイ搭載機種 ※901/500 シリーズのおサイフケータイ搭載機種には対応しません。	○	×
au　おサイフケータイ搭載機種	○	○
Softbank　おサイフケータイ搭載機種	○	○

2008 年 4 月 16 日現在

- 音量　大･中･小・ミュート選択機能
- LED 点灯パターン　常時点灯・点滅パターン 2 種類・常時消灯選択機能
- 動作環境：　0～40 度　　30~80%RH　結露なきこと
- 保存温度：　-10～50 度　　30~80%RH　結露なきこと
- 電源　5V~12VDC　付属 AC アダプタの他、市販 USB 電源バッテリ利用可
- 消費電力　最大 430mW　スタンバイ時平均 150mW
- サイズ　28mm×24mm×10mm

4. *付属品*

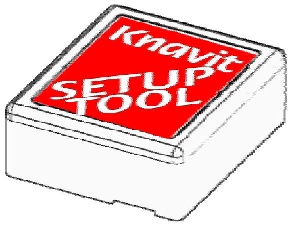
Knavit **スターターキット**には下記のものが含まれています。(販売時の形態によってはこれと異なる場合があります)

- Knavit セット　　1 セット
  - Knavit 本体 ··············· 1 台
  - AC アダプタ ··············· 1 台
  - 固定用シール ··············· 1 枚



Knavit 本体

- Knavit SETUP TOOL　　1 台
- Knavit SETUP IC CARD　　3 枚



Knavit SETUP TOOL

Knavit 本体は、白の細いケーブルが付いています。Knavit SETUP



Knavit SETUP IC CARD

TOOL は、赤いラベルと黒の太いケーブルが付いています。
当マニュアルの最新版およびソフトウェアは、下記サイトよりダウンロードして入手ください。
`http://www.axes.jp`　または　`http://knabit.jp/`

5. *追加購入可能な製品*

Knavit のシリーズには、Knavit **スターターキット**の他に

- 追加 Knavit **セット**
- 追加 Knavit SETUP IC CARD

を用意しています。販売代理店にお問い合わせください。
なお、Knavit SETUP IC CARD は、繰り返し書き換えて利用できます。

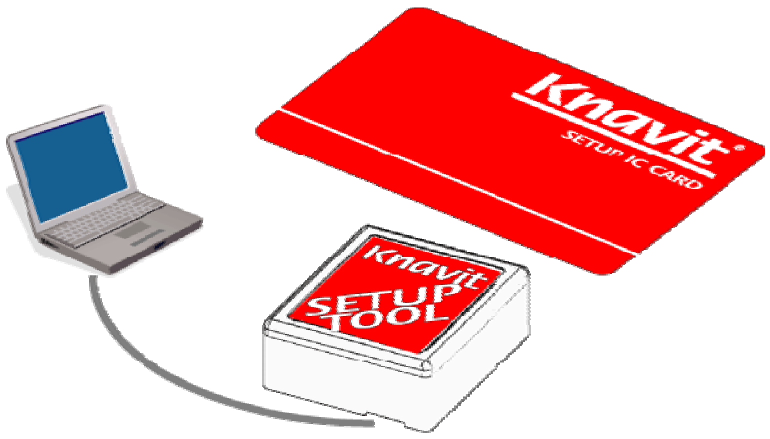
2 台目以降の Knavit SETUP TOOL が必要になった場合には、事前に販売代理店に追加の Knavit スターターキットの購買である旨お伝えいただいてから入手ください。Knavit スターターキットは、管理 ID により他のスターターキットで製作した設定用 IC カードによる誤設定を防止する機能を有しており、異なる管理 ID のスターターキットで作成した設定カードを一度 Knavit 本体にかざすと、同じ管理 ID で作成した設定カードしか受け付けなくなります。

事前にご連絡のない限り、異なる管理 ID の製品が出荷されるようになっています。

管理 ID の確認方法は、ページ 16 を参照ください。

6. 基本的な操作の流れ

Knavit を利用頂く際の基本的な流れを示します。それぞれ詳細について後述していますので参照ください。

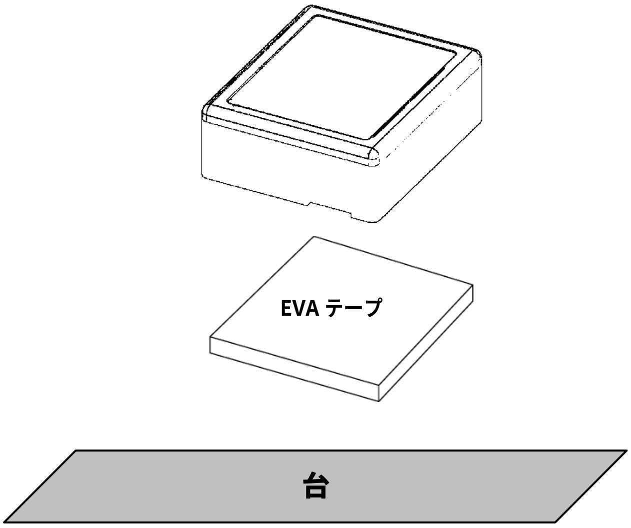
	Knavit SETUP TOOL を PC に接続し、設定ソフトを実行します。 SETUP IC CARD を Knavit SETUP TOOL にかざし、設定データを書き込みます。 SETUP IC CARD は繰り返し書き換えて使用することができます。 詳細　11 ページ
	SETUP IC CARD 単体を Knavit を設置してあるところへ持って行きます。 この後の操作は非常に単純で、専門知識のない方が操作しても構いません。このため、郵送など低コストな方法で設置場所に送付し、現場の方々に操作していただくこともできます。
	SETUP IC CARD を Knavit に約 15 秒間かざします。 設定中は音とランプで状況を確認できます。 同一内容の設定であれば、同じ SETUP IC CARD を複数の Knavit にかざして設定することができます。 詳細　17 ページ
	確認のため、携帯電話機をかざします。 画面の表示や、誘導先サイト情報が合っている事を確認します。 間違っている場合は、再度 SETUP IC CARD を Knavit にかざします。 確認ができたら、設定は完了です。

7. Knavit 装置の設置と動作確認方法

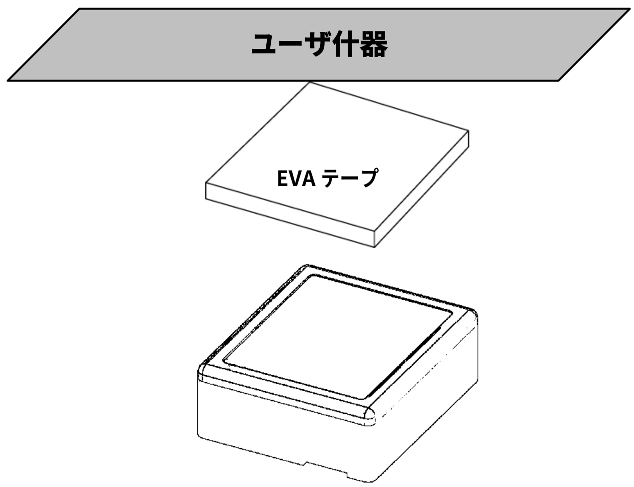
様々な設置方式

本体は、利用場所は利用形式により柔軟に固定できます。
設置の方向は水平のみでなく、垂直に取り付けも可能ですので、ポスターの表面あるいは背面に取り付けて使用することもできます。

付属の EVA テープを用いて台の上に装着する場合

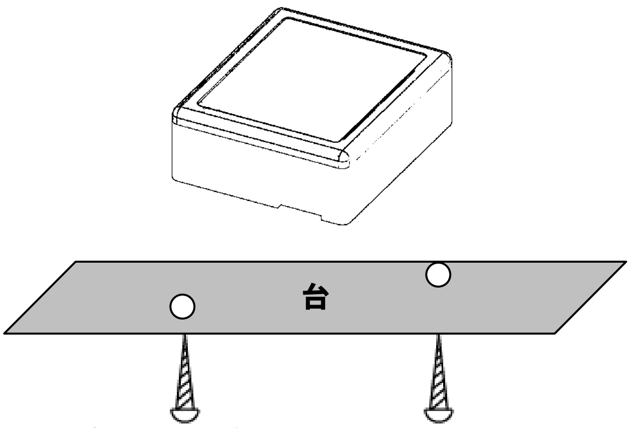


ユーザ什器の内側（下側）に装着する場合



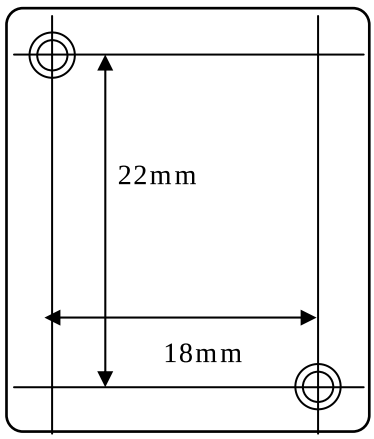
注意：ユーザ什器は電波を透過しない金属質の物は利用することができません。電波到達距離のことを考えできるだけ薄いものを利用ください。

ネジで台に固定する場合



M1.7 のタップネジで、長さは台の厚み+3~5mm です。
ネジは付属していません。

ネジ固定時の取り付け穴位置

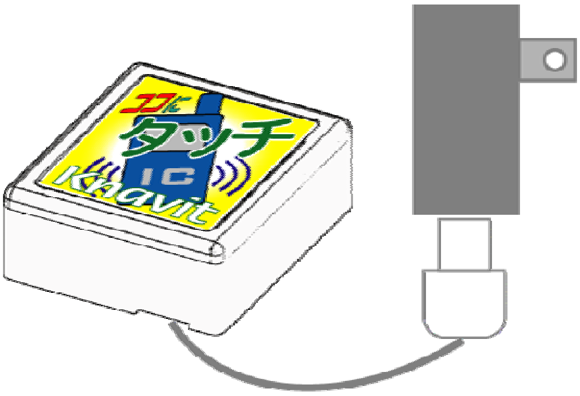


底面側から見た穴位置

隣接して設置するときの注意

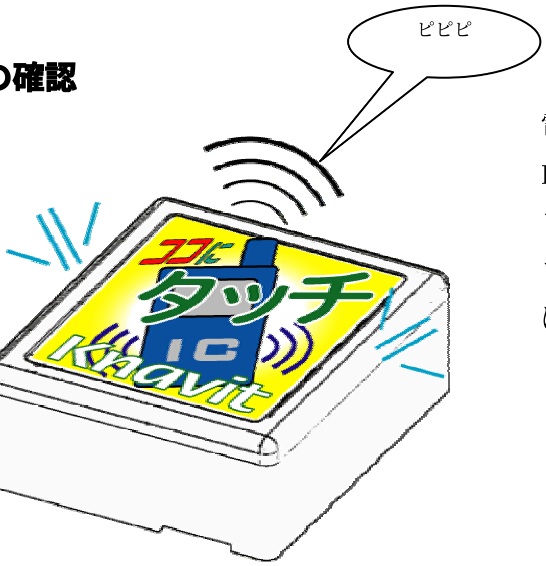
Knavit 本体は、密接する状態で隣接して設置しても動作しますが、かざす携帯電話機の反応性能とかざす過程の持つ手の動きによりユーザの意図しない誘導情報受信をする可能性がありますので、実際の携帯電話機の大きさや、ユーザの動きを想定して設置間隔を空けてご利用ください。
固定した状態で、設定変更を行う可能性があるときは、5cm 以上離して設置してください。

電源の接続



Knavit 本体の設置が完了した後、本体から出ている白いケーブルの先のコネクタを付属の AC アダプタをコンセントに装着し、Knavit 装置のケーブル先の USB コネクタを AC アダプタに挿入してください。
付属の AC アダプタ以外にも、一般のパソコンや、市販の USB コネクタを装備した電池パック、十分な給電の可能な USB ハブなどに接続して使用することもできます。

動作の確認



電源を入れると、LED がしばらく点滅してから、設定した LED 点灯パターンになると同時に、ピピッという音が鳴ります。これで携帯電話機がかざされたり、IC カードがかざされて反応する準備が整ったことを示します。音の大きさは、この後設定通りに動作します。

ここで、おサイフケータイ携帯電話機の Felica マークが印字や刻印されている部分を Knavit にかざすと、携帯電話機の画面にブラウザ起動画面やメール送信起動の画面が表示されます。ここで表示されるパターンはユーザの携帯電話機により異なります。





確認音と携帯画面上の実際の表示について

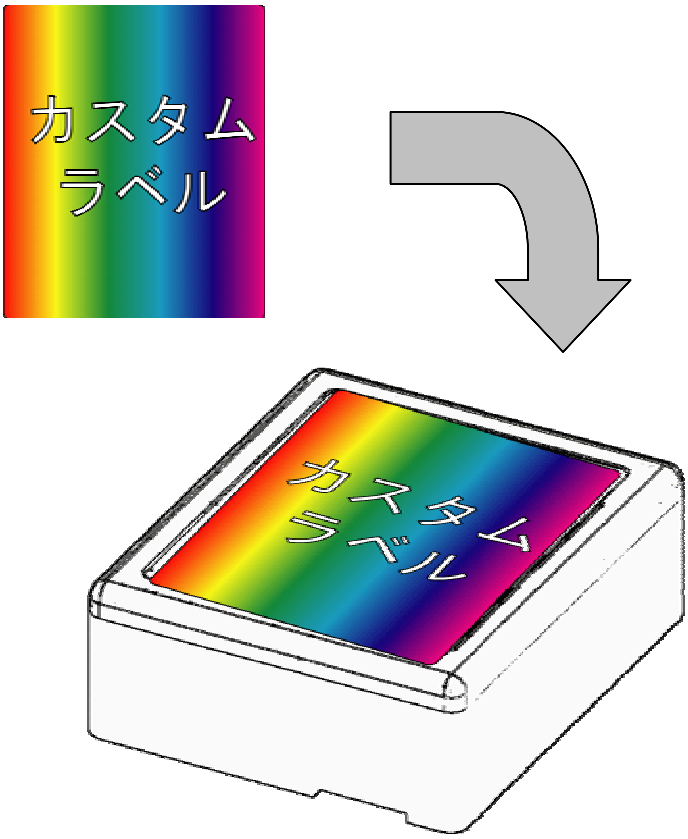
携帯かざしが不十分であったりすると、音は鳴るものの、正しく URL 誘導やメール誘導画面が表示されないことがあります。誘導画面が表示されるまでしっかりとかざしてください。
また、特に同じ携帯電話機で繰り返しかざしを行っていると、音が鳴らないまま誘導画面が表示されることがあります。

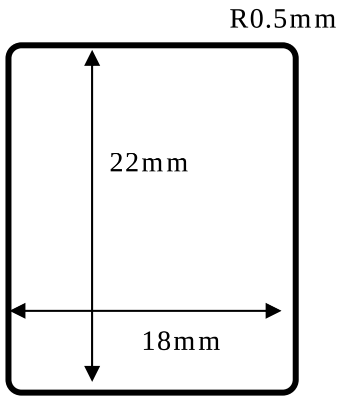
反応距離と速度について

Felica マークの位置と Knavit の位置がずれていたり、距離があると正しく反応しません。反応する距離は、携帯電話機の機種毎に異なります。基本的には密着させるようにして利用ください。
また、かざしている時間が短いと携帯電話機の画面が何も反応しないことがあります。
特に省電力モード状態でのかざしは通常モード状態の時に比べ時間がかかる場合が多くなります。

ラベルのカスタマイズ

Knavit 装置には出荷時点で当社の既定ラベルが挿入されていますが、お客様にて自由に本体表面にラベルを貼り付けることができます。





サイズは、19x23mm　R0.5mm　厚み 0.16mm 以内です。
このサイズ以上のものを貼り付けることも可能ですが、厚みとその材料についてご注意ください。

厚みは、携帯電話機との通信距離に影響しますので、できるだけ薄い材質のものをご利用ください。携帯電話機は FOMA902 時代のものでは通信距離が取れないものが多く、5mm を超える場合正しく通信できないことがあります。
材料は電波を透過しない金属質のものはご利用になれません。

8. 設定カード(SETUP IC CARD)の作成方法

ソフトウェアのインストール

http://www.axes.jp または http://knavit.jp/ から、knavit 用の Setup ソフトウェアをダウンロードしてください。

USB ドライバーのインストール

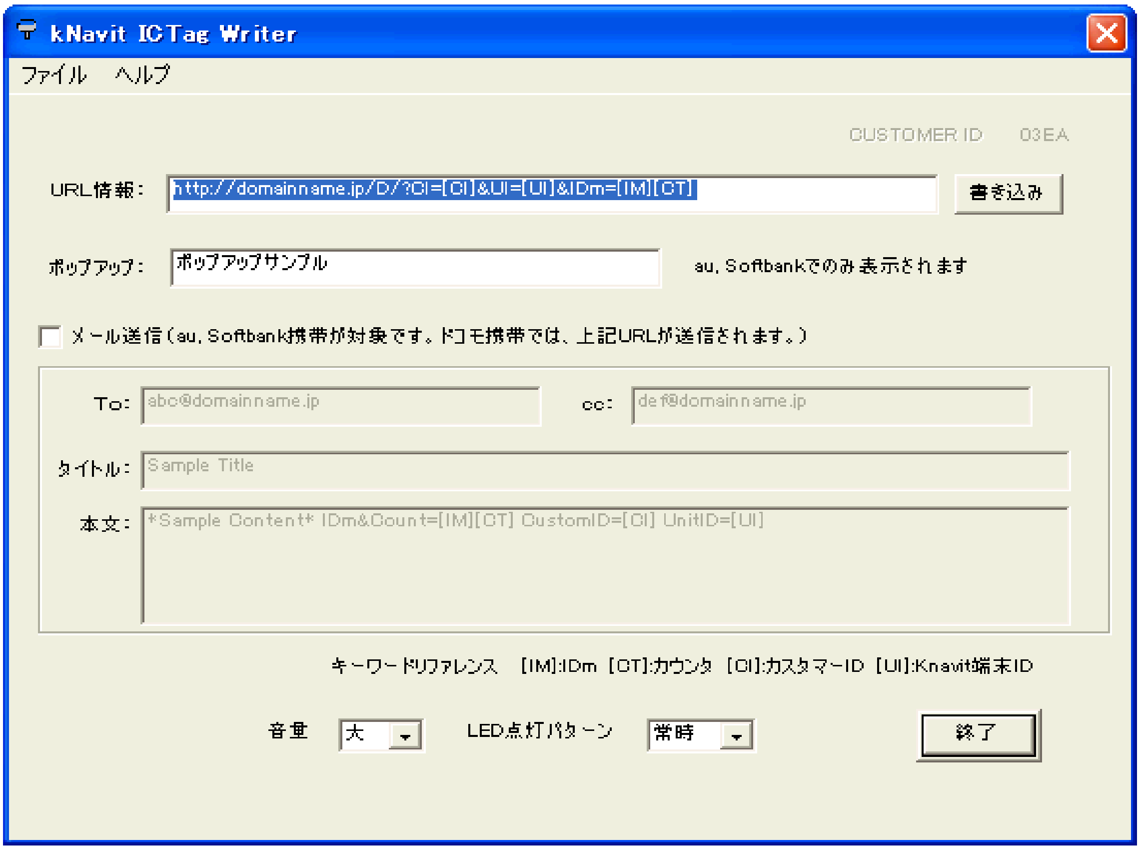
ご利用の CID を確認し該当するドライバーをダウンロー頂き、インストール作業を行ってください。

Knavit.exe のインストール

適当なフォルダにダウンロードした Knavit.zip を展開し、コピーしてください。

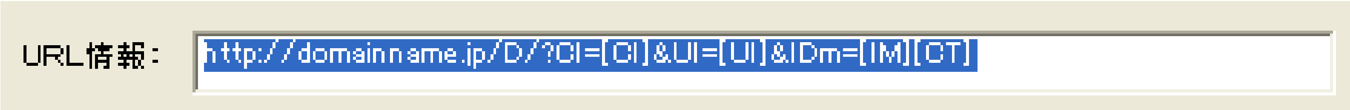
パソコンに Knavit SETUP TOOL とラベルの付いている装置の USB コネクタを接続します。
白い細長いケーブルの付いているタイプのものは、Knavit 本体であり、SETUP IC CARD 作成の目的には利用できません。

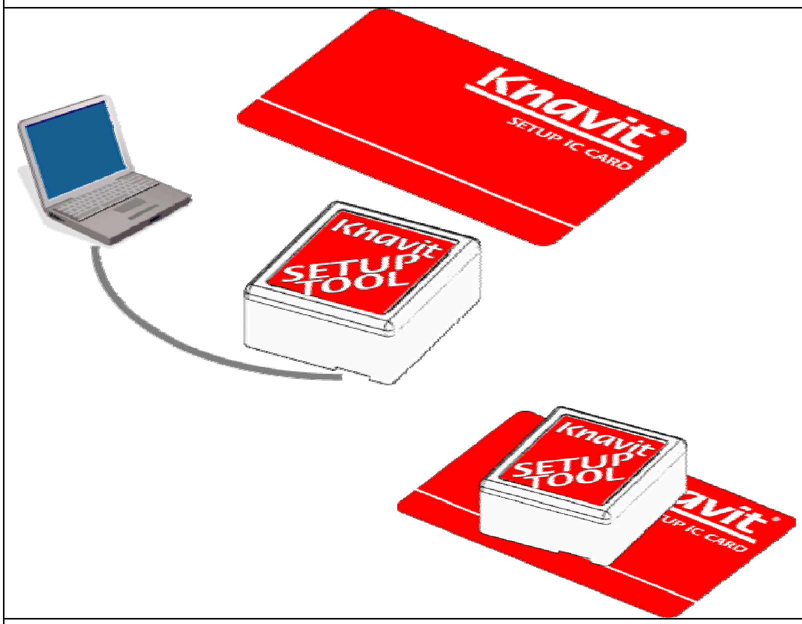
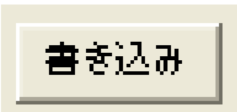
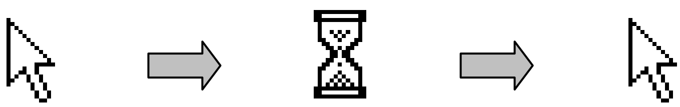
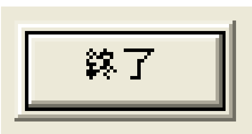
Knavit.exe をダブルクリックして起動します。以下の画面が表示されます。
Knavit SETUP TOOL が正しく接続されていなかったり、ドライバが正しくインストールされていないと、ここで接続されていないとのエラーメッセージが表示されます。



基本操作方法

最初に基本の利用方法を説明します。一度この通りに実行してみてから次頁以降の各種機能を利用ください。

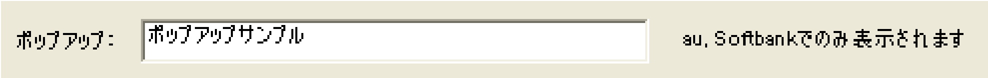


	1. 誘導先 URL 情報を入力します。http://や https://などで始まっていないと、携帯電話機側で無視されたりエラーメッセージが表示されることになります。設定する文字列の長さには制限があります。15 ページをご覧ください。
	2. SETUP IC CARD を SETUP TOOL にかざします。 SETUP TOOL の下においても構いません。 SETUP IC CARD は、携帯電話機に比べ反応伝達距離が長いため、付近に非設定対象のカードを置かないよう注意してください。
	3. 書き込みボタンを押します。
	4. マウスポインタが砂時計に変わり、作業が完了すると通常のポインタに戻ります。**20 秒程度かかります**。エラーが表示されたり、途中で IC カードを外してしまった場合は、もう一度「書き込み」ボタンを押してください。
	5. 繰り返しカードを作成する場合は、1 から 4 を繰り返します。終了する場合は、「終了」ボタンを押してアプリケーションを終了します。

Knavit 装置への設定書き込みは、同一内容の設定であれば何台でも 1 枚の SETUP IC CARD で書き込みが可能です。

拡張操作方法

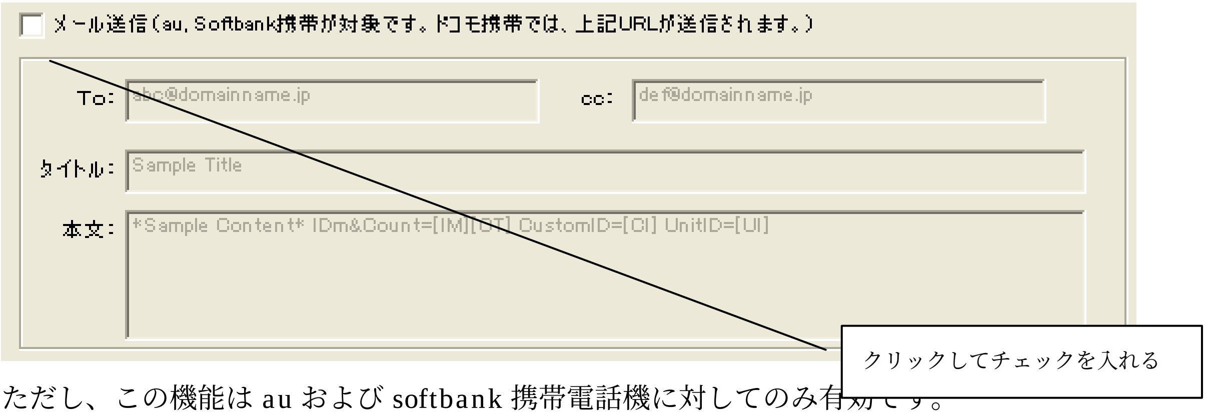
ポップアップ



au および Softbank 携帯電話機に対してのみ有効な機能で、ブラウザ起動またはメール起動の際に、ここに入力したテキストが、かざされた携帯電話機の最初の画面に表示されます。
テキストは、半角、全角どちらも利用できます。最大半角 40 文字（全角 20 文字）まで設定できますが、携帯電話機によっては全てを表示できません。また、設定する文字列の長さには別の制限があります。15 ページをご覧ください。

メール送信誘導（空メール送信）

メール送信にチェックを入れると、URL 誘導でなくメール送信誘導ができます。



ただし、この機能は au および softbank 携帯電話機に対してのみ有効です。
Knavit 装置はかざされた携帯電話機のキャリアを判断し、NTT ドコモ携帯電話機であれば、URL 情報で指定された URL 誘導を、au または softbank 携帯であればメール誘導を行います。
メール送信にチェックが入っていない状態では、キャリアにかかわらず URL 誘導を行います。

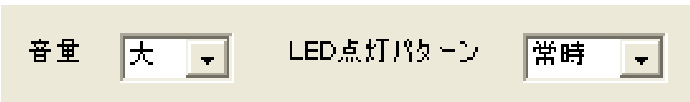
メール送信の各種パラメータは、一般的なメールと同じです。

- To:　送り先アドレス（必須）
- cc:　cc:アドレス　（オプション）
- タイトル:　件名　　　　（オプション）
- 本文:　本文　（オプション）

をそれぞれ指定します。
(オプション)としている部分は空白のままでも構いません。
タイトルおよび本文に日本語文字列を利用することもできます。
設定する文字列の長さには制限があります。15 ページをご覧ください。

音量の変更

LED 点灯パターンの変更



Knavit 装置の電子ブザー音の音量を「なし」、「小」、「中」、「大」から選択します。

ここで音量を設定しても、SETUP IC CARD による設定変更時は「中」音量にてブザーが鳴ります。

Knavit 装置の LED 点灯パターンを「消灯」、「1」、「2」、「常時」から選択します。

1: 0.8 秒点灯 2.4 秒消灯の繰り返し
2: 0.8 秒点灯 0.8 秒消灯の繰り返し

埋め込み可能各種 ID と利用方法

以下の各種 ID を URL 誘導時やメール送信時に埋め込むことができます。

この機能は、Web サーバー側やメール受信サーバー側が処理する前提で利用することになります。
サーバー側で正しく処理されない状態でこれら情報を埋め込むとユーザを正しく自身のホームページで誘導できないことがあります。
サーバー側の処理方法については弊社ではお答えしておりません。ホームページ関係の専門業者に下記各種 ID 情報とともにお問い合わせください。

埋め込み可能 ID の種類とフォーマット

種類	設定上の文字列	意味	埋め込み時の占有文字数	フォーマット
管理 ID	[CI]	SETUP TOOL に事前に設定されている管理 ID	4	0~9 の数字と A~F のアルファベット 例 “0123”, “45DF”
ユニット ID	[UI]	Knavit 毎に異なる ID	4	A~Z のアルファベット 例”AAAA”, “YZZZ”
携帯端末固有 ID	[IM]	かざされた携帯電話機に搭載された Felica チップの個別 ID 番号	16	0~9 の数字と A~F のアルファベット 例 “1234567890ABCDEF”
アクセスカウンタ	[CT]	かざされた回数	4	16 進数データを ASCII 文字列に置き換えたもの(0~9 の数字と A~F のアルファベット) 例 5,10,20,5000 回目はそれぞれ、”0005”,”000A”, “0014”, “1388”

管理 ID は、複数のスターターキットを利用される時に使用する可能性のあるもので通常は使う必要はありません。

お使いの Knavit 本体のユニット ID の確認方法は、16 ページをご覧ください。

携帯端末固有 ID は各携帯電話機に搭載されているモバイル Felica IC チップの個別 ID 番号です。この番号をサーバーで管理することにより、初めての顧客であるか、何回目の顧客であるかを判別することができます。なお、この ID は電話番号ではありません。またこの情報から電話番号をはじめ、各種個人情報の取り出しを行うことはできません。

アクセスカウンタは、電源が切れても情報を保持していますが、設定カードをかざすたびにリセットされます。ユーザが正しく携帯電話機をかざさなかったり、連続して同一携帯電話機をかざすと正しく更新されないことがあります。

利用方法

上記表の「設定上の文字列」欄に記載されている鍵カッコ'[', ']'で囲まれた文字列（鍵カッコを含む）を URL 情報や、メールのタイトルまたは本文の情報欄の中に書き加えて使用します。

例　　　http://domainname.jp/ ?im=[IM]

利用上の制限

アクセスカウンタ([CT])は単独での利用はできません。必ず携帯端末固有 ID　[IM]とともに使用し、また[IM]の直後にスペースなど何も置かずに配置する必要があります。

例：

可　　　http://domainname.jp/D/ [IM][CT]abc
不可　　http://domainname.jp/D/ [CT] abc
不可　　http://domainname.jp/D/ [IM]abc[CT]def

[IM]および[CT]はメールタイトルとメール本文の両方に設定することはできません。両方設定されている場合は、タイトルが優先されて使用されます。
URL 情報とメールタイトルもしくはメール本文との両方に設定することは可能です。

例：

タイトル:　　サンプルタイトル[IM]
本文: サンプル本文[IM][CT]

この場合、タイトルが、「サンプルタイトル xxxxxxxxxxxxxxxx(実際の携帯端末固有 ID)」で、本文が、「サンプル本文[IM][CT]」となり、本文部分は置き換えされないまま送出されます。

例：

タイトル:　　サンプルタイトル
本文: サンプル本文[IM][CT]

の場合は、タイトルが、「サンプルタイトル」で、本文が、「サンプル本文 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx(実際の携帯端末固有 ID)およびアクセスカウント数」となり、目的通り置き換えられて送出されます。

文字列の長さの制限

ポップアップ情報は、40 バイトまで、URL 情報はポップアップ情報を含め 184 バイトまで、メール情報は、ポップアップ情報、To:、cc:、タイトル、本文をあわせて 178 バイトまでが利用可能です。さらに、URL 送信とメール送信の両方を行う場合、両方合わせた合計が、210 バイト以内である必要があります。なお、ポップアップ情報は、メール送信を利用する場合は、URL 情報側としては計算せず、メール情報として計算します。

これらの文字数には、埋め込みキーワード占有する文字数を含んでいます。

例：

http://domainname.jp/D/[IM][CT]
は 32 バイト分でなく、44 バイトとして計算します
http://domainname.jp/D/?CI=[CI]&UI=[UI]&IDm=[IM][CT]
は 52 バイト分でなく、64 バイトとして計算します

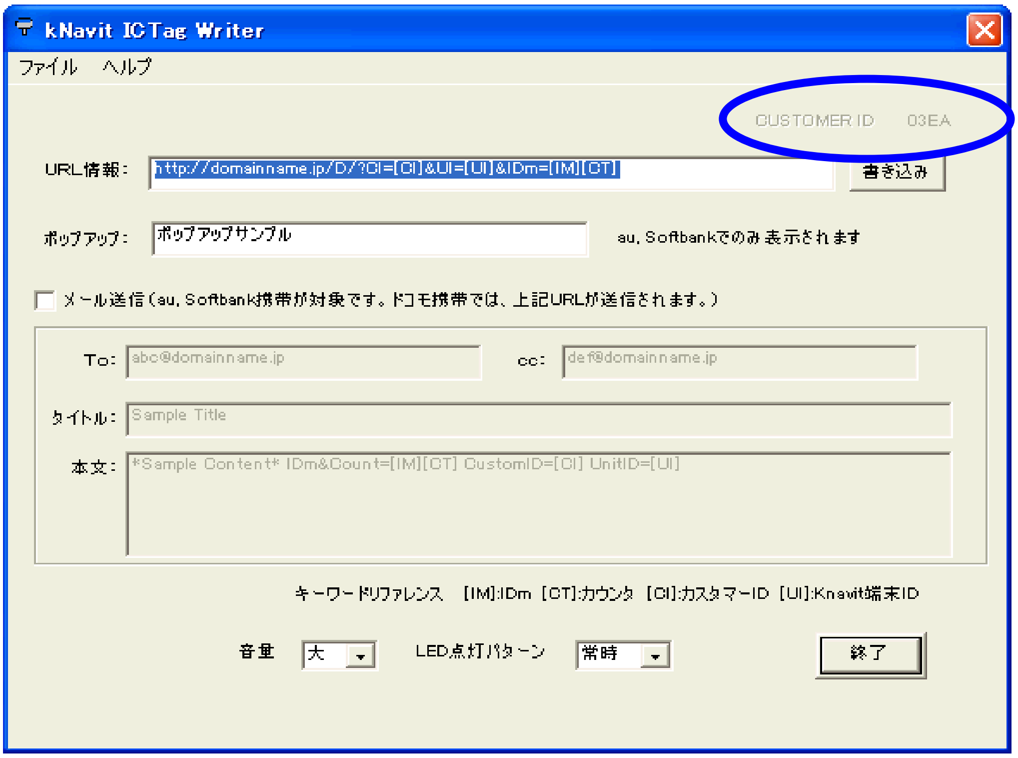
管理 ID(カスタマーID:CID)の確認方法

Knavit SETUP TOOL 本体の裏側に以下のシールが貼ってあります。



管理 ID は CID:の後の XXXX 部分です。XXXX は、0~9 の数字または A~F のアルファベットで、4 桁です。

設定用アプリケーション Knavit.exe を実行しても確認できます。表示される CUSTOMER ID の後に表示される 4 桁の数字文字列が、管理 ID です。



Knavit 本体 ID(ユニット ID:UID)の確認方法

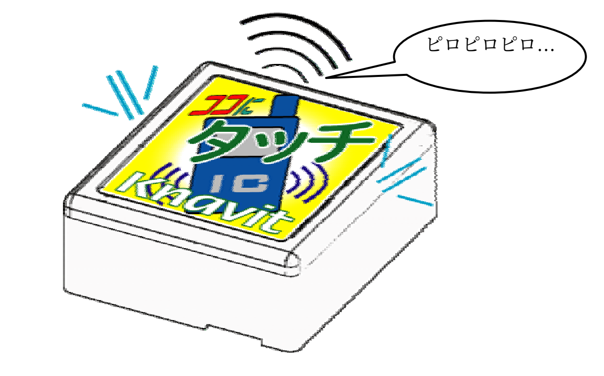
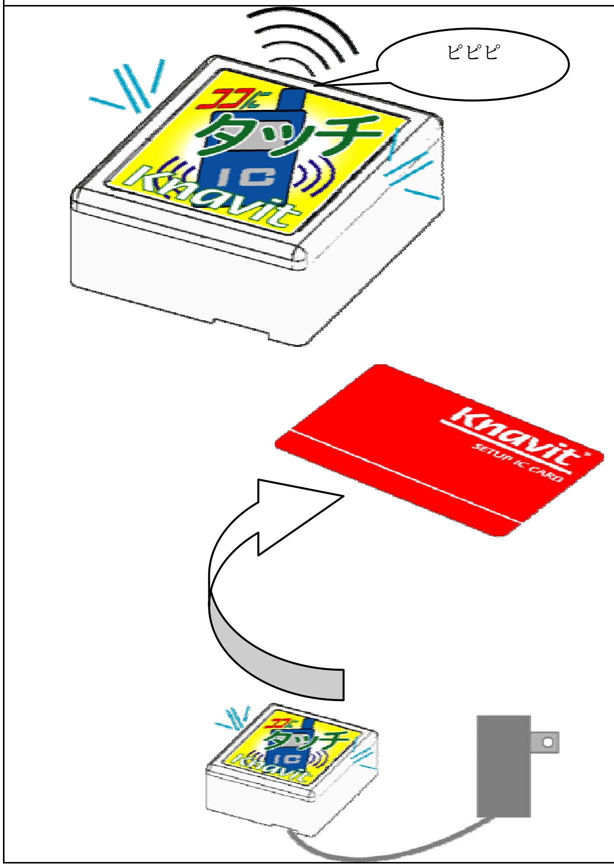
Knavit 本体についているケーブルの USB コネクタの付近に以下のシールが貼ってあります。

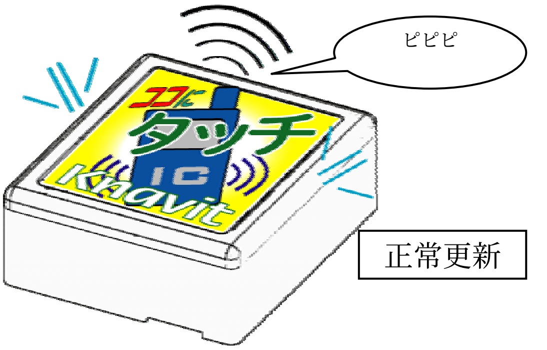


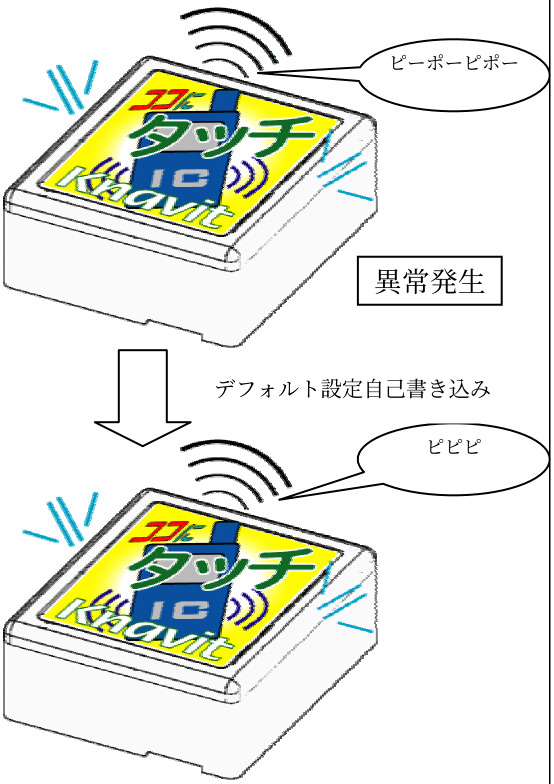
Knavit 本体 ID は UID:の後の XXXX 部分です。XXXX は、A~Z のアルファベットで、4 桁です。

ラベルが脱落している場合は、セットアップツールで、[UI]キーワードを入れたセットアップカードを作成し、携帯電話機に表示される内容で確認してください。

9. Knavit 装置の設定情報更新手順

	1. Knavit Setup ソフトウェアで製作した IC カードをかざします。
	2. ピロピロピロ・・・　と音が約 15 秒間続きます。 ここで、音が鳴り出さない場合は、かざされたカードの管理 ID が不一致であるか、カード上のデータが正しく書き込まれていないことを意味します。
	3. この後、ピピピという音が短く鳴ります。 1～3 の間はカードを外してはいけません。途中で外してしまった場合は、6 まで待ってから、もう一度 1 から繰り返します。 4. ここで、SETUP IC CARD を取り除いてください。

<table>
<tr>
<td>
</td>
<td>5. ここから LED が不規則に点滅します。約１０秒おいて、3 より少し低めのピピピという音が鳴って完了です。

音量および LED はこの後から設定通りに動作します。
新しい設定が正しく動作するか携帯電話機をかざして確認してください。</td>
</tr>
<tr>
<td>
</td>
<td>6. 5 においてエラーが発生した場合、代わりにピーポーピーポー音が鳴ります。この後、Knavit はデフォルト設定情報を自身で書き込みます。この間、約 20 秒かかり、完了するとピピピという音が鳴ります。

デフォルトの URL 誘導設定として、
<code>http://knavit.jp/D/?CI=[CI]&UI=[UI]</code>
が設定されています。
IC カードを確認し、もう一度 1 からやり直してください。</td>
</tr>
</table>

更新中の音量は、設定にかかわらず「中」レベルの音量となります。

10. トラブルシューティング

かざす携帯電話機は、基本的に待ち受け画面状態で、かつ IC ロックなどおサイフケータイとしてのアクセス制限セキュリティがかかっていないこと、またブラウザ接続においてもアクセス制限が設定されていないことが条件になります。アクセスできないトラブルの多くはこれらの条件が整っていないことです。また、特に FOMA 902 時代の携帯電話機においては、その無線通信の反応距離が短いことと反応が遅いため、他の機種に比べ長い時間かざし続ける必要があります。

音は鳴るものの、携帯電話機画面に何も表示されない。

設定情報が誤っています。
かざしている時間が短すぎます。
携帯電話機上でアプリケーションが起動しています。

音量設定が「なし」でない状況においても、音も鳴らない

設定情報が誤っています。
かざした携帯電話機がおサイフケータイではありません。
かざす位置が間違っています
携帯電話機の設定が、IC ロックなどセキュリティ設定がされています。

携帯画面に表示されるが、接続できない

設定情報が誤っています。
携帯電話機の設定がアクセス禁止になっています。

携帯画面に表示されるが、音が鳴らない

音量設定が「なし」になっています。
繰り返し同じ携帯電話機をかざしています。

カウンタが正しく上がらない

携帯電話機をかざしている時間が短すぎます。
繰り返し同じ携帯電話機をかざしています

設定用カードが認識されない（設定開始音が鳴らない）

別の管理 ID で作成した設定用カードをかざしたことがある
設定用カード作成時に正しい位置にかざされていなかった
別の設定用カードが付近にある

Knavit スターターキット取扱説明書
KNV-MAN11
Ver.1.1b　2008 年 6 月
株式会社アクセス
TEL03-5730-6686　FAX03-5730-6687
http://www.axes.jp
http://knavit.jp